

事業番号	403
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	学校体育施設開放事業						担当部	教育委員会事務局							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	スポーツ推進課							
	事業期間	平成18年度			～	平成30年度以降		担当係	スポーツ推進係							
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		14 スポーツ		1		スポーツ活動の機会を充実します							
		副目的														
	予算区分	款	10		項	6		目	1		大	3		中	2	
	根拠法令・個別計画	小牧市立小学校及び中学校の施設の開放に関する規則														
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	あらゆる世代の市民のスポーツ活動の機会の充実のため、学校施設の開放を行う。														
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容 学校単位で設置する開放運営委員会に体育館、グラウンド等の開放業務を委託し、スポーツ振興会や競技団体の活動の場等として開放する。</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 学校体育施設開放委託(4,928千円) プール開放委託(2,400千円) 学校運動場夜間開放管理指導員謝礼(146千円) その他、消耗品費・印刷製本費等(775千円)</p> <p>◆26年度直接経費の内訳 学校体育施設開放事業委託(4,942千円) 学校体育施設プール開放委託(2,560千円) 学校運動場夜間開放管理指導員謝礼(246千円) その他、消耗品費・印刷製本費等(1,077千円)</p>														
	受益者負担	有 学校運動場照明施設 夜間照明使用料 30分当たり1,050円														

			単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額	
	コスト	費用	直接経費		千円	8,084	8,136	8,249
正職員			従事者数	人	0.30	0.30	0.30	0.30
			人件費	千円	1,578	1,578	1,578	1,578
その他職員			従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
費用合計			千円	9,662	9,714	9,827	10,403	
対前年比		%		100.5	101.1	105.8		
財源	一般財源		千円	9,436	9,491	9,598	10,196	
	国・県支出金		千円	0	0	0	0	
	その他財源		千円	226	223	229	207	

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	開放中学校数	校	目標	9	9	9
実績				9	9	9	
開放小学校数		校	目標	16	16	16	16
			実績	16	16	16	
開放高等学校数		校	目標	3	3	3	3
			実績	2	1	0	
成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26	
施設利用人数	人	目標	200,000	200,000	200,000	200,000	
		実績	210,250	213,811	233,781		
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成25年度の事業の実施結果	事業の達成状況	小学校、中学校は、目標校数の開放ができた。高等学校は、3校とも開放可能であったが利用された高等学校がなかった。施設利用者人数は、目標を達成し、平成24年度に比べて増加した。				
		事業実施における課題	高等学校については、年度当初に学校から開放日程が提示されるが、運動部活動などの学校行事のため、開放日も少なく、実際に利用希望がなかった。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	競技団体、地元のスポーツ団体が競技等を実施する場合に支障が生じる。				
		平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	中学校の運動場において、実施可能な競技種目の拡大を図る。			
		平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)		
		判定理由	スポーツ振興会や競技団体へ活動の場所として学校の体育施設を開放でき、スポーツの普及に貢献できた。				
		27年度以降の改善案	高等学校の学校開放は、学校行事などを優先するため、結果的に開放日が少ない。市ソフトボール協会など利用可能な団体に、適切なPRがされているか検討する。				

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。